

令和6年11月25日

瑞浪市長 水 野 光 二 様

瑞浪市行政改革審議会

会長 宮 嶋 恒 二

令和6年度第5次瑞浪市行政改革に関する意見書

(令和5年度評価)

第5次瑞浪市行政改革大綱の令和5年度(2023年度)行動計画進捗状況及び計画期間の総括と今後の方向性に関して、本審議会において評価及び意見をまとめましたので提出します。

貴職におかれましては、本意見書の趣旨を十分に反映され、行政改革を推進されるよう要望します。

1 総評

瑞浪市の行政改革において、市の事業について外部による評価を依頼され、「行政改革審議会委員」という形で行政に関わることができたことは、私たちにとって大変有意義な経験でした。市民の代表という意識を持って検討し、事業の評価検証に取り組みましたので、そこで出た意見を取りまとめ、意見書として提出します。限られた時間、限られた資料での評価となりましたが、委員各位で議論を深めることができたと感じており、私たちの意見をこれからの行政改革に活かしていただければ幸いです。

以下に、今回の審議会にて特に意見が一致した事項、強調したい事項を記します。

(1) 協働による行政運営

住民団体等の活動支援は、概ね計画どおり実施されたと考えるが、目標設定が甘いと感じられる部分があったため、目標設定あるいは事業内容を見直し、事業の目的が達成できるよう工夫をお願いします。

ホームページ等の活用によって、情報提供は年々強化されている。引き続き、見やすさ、分かりやすさに留意し取り組まれない。

外部の視点による評価の推進については、外部評価結果を庁内で共有し、改善に繋げていることは評価できる。引き続き、外部委員からの意見を参考に、今後の行政運営に活かしていただきたい。

(2) 簡素で効率的な行政運営

行政手続きの簡素化の各事業において、適切に実施されている。証明書がコンビニで交付可能となるなど、市民ニーズに合わせた行政手続きが進められた点は評価する。

RPA・AI-OCRを運用したことにより、様々な業務で自動化・省力化が進められていることは評価する。引き続き、効果の検証が必要であるとともに、効率化されたことにより、手間やコストが省けた分を何に注ぐのかも重要である。

時代に対応した適切な行政組織を構築するために、市民ニーズに合わせた組織再編を継続して努めていただきたい。また、組織再編の際は、課名、窓口等の変更に伴い戸惑う市民のために、周知の徹底をお願いします。

(3) 持続可能な行政運営

公共施設の管理においては、長期的視点に立ち国の指針のほか再編成プランや個別施設計画を適宜見直しながら、適正に管理していただきたい。

個人情報保護・情報公開制度研修会ならびに契約事務担当者研修会等の重要な研修へ力を入れ、実施後は研修内容を振り返り、必要に応じて改善を行いつつ職員資質の向上に努めていただきたい。

2 評価項目

第5次瑞浪市行政改革大綱体系の行動計画19項目について、下記基準により評価を行った。

第5次瑞浪市行政改革大綱体系

基本方針	行政改革の柱	行動計画
行政の『質』の向上	(1) 協働による行政運営	① 住民団体等の活動支援の推進
		② 指定管理の推進
		③ 市政情報提供の強化
		④ 広聴活動の推進
		⑤ 外部の視点による評価の推進
	(2) 簡素で効率的な行政運営	① 業務委託の推進
		② 計画行政の推進
		③ 組織再編
		④ 業務のシステム化の推進
		⑤ 行政手続の簡素化
		⑥ 事務事業の見直し
		⑦ 広域行政の推進
	(3) 持続可能な行政運営	① 公共施設の見直し・再編
		② 健全な財政運営
		③ 収納対策の推進
		④ 新たな自主財源の確保
		⑤ 受益者負担の適正化
		⑥ 職員定数の適正化
		⑦ 職員資質の向上

評価区分・判定基準

評価区分	評価区分の判定基準
「◎」 達成	当該年度の目標(取組み)に対し、80%以上若しくはほぼ想定どおり又はそれを超える状況となった場合
「○」 おおむね達成	当該年度の目標(取組み)に対し、50%以上80%未満若しくは想定どおりの状況に至っていないが、一定の成果が上がっている場合又は目標は達成しているが実績が前年度未満である場合
「△」 見直し(改善)	当該年度の目標(取組み)に対し、50%未満若しくは想定どおりの状況にならなかった場合

3 評価及び個別意見

(1) - ① 住民団体等の活動支援の推進

【評価】◎ 2 人 ○ 4 人 △ 0 人

【個別意見】

- ・協働による行政運営の中で、住民団体等の活動推進については、概ね計画どおり実施できていると評価する。実効性のある防災訓練の実施や、救命率の向上を目的とした救命講習の実施は、コロナ禍の影響はあるものの命を守るための取り組みであることを考えると、目標に掲げる参加人数を達成できるように工夫が必要である。
- ・自治会・ボランティア・NPOなどと連携した事業の目標人数が、コロナ禍以前の数値に設定されたことは、評価に値すると考える。また、地域計画発表会は、8 地区の計画を具体的に知ることができるとともに、それぞれの地区の様子を伺うことができ、大変良い企画であったと考える。
- ・コミュニティーセンターの機能に地域密着型の支援を追加できないか。また、高齢者が自由に出入りできるようにしていただけないか。
- ・集落支援員制度について、連合自治会・まちづくり推進協議会において、集落支援員の役割は大変重要だと考える。連合自治会・まちづくり推進協議会の活動内容からして、休日における行事や時間外での会議参加などが不可欠であるにもかかわらず、支援員という立場であると、頼む側としても頼みづらい側面も多いため、正職員への移行は考えられないものか。
- ・各種団体との連携強化について、前年度の実績回数が 20 回であるにもかかわらず、目標回数が前年度と同じなのはなぜか。
- ・情報交換会として一番大切な民生委員・児童委員との役員会は、8 地区で 12 回あるにもかかわらず少なすぎないか。
- ・町内の草刈等を行っている方に、コーンなどの貸し出しを各コミュニティーセンターで行っていただけないか。
- ・生涯学習推進活動について、参加者がコロナ禍以前の水準に達していることは評価する。
- ・市内 8 地区にて夢づくり地域交付金を活用して様々な事業を実施されている。参加者はコロナ禍と比較し、少ない状況であるが、様々な組織団体との連携に取り組むなど、積極的な活動は評価できる。
- ・コロナ禍が明け 2 年が経ち、多くの事業で目標が達成できたと感じるが、課によって目標設定が甘く過去の目標を見直しせず、そのまま設定している事業も見受けられる。
- ・市内 8 地区のまちづくり推進協議会を中心に、行政と市民が活発に活動できている。
- ・各種団体で幅広く、細かい支援が見られた。

(1) - ② 指定管理の推進

【評価】◎4人 ○2人 △0人

【個別意見】

- ・公の施設の指定管理の推進については、費用対効果を適切に判断し、計画・実施されたい。
- ・安易に指定管理者制度を導入することなく慎重な審査を行い、中断も含めて適切に判断されたい。
- ・本制度の適切な評価を定期的実施していることを評価する。その評価をもとに、引き続き適切な運営・検討を期待する。
- ・指定管理者制度運用の方針について、見直しが実施され、年度末評価がされていることは評価する。
- ・斎場指定管理者制度導入について、令和4年度から再検討が続き、進展がないにもかかわらず、評価が「◎」なのはなぜか。
- ・指定管理者制度の対象先23施設において、効率的・効果的に運用されているかの評価も実施され、指定管理者制度導入に関する方針に基づき、適切な管理がなされていると思う。
- ・検討を行った場合のみでは、「◎」ではなく「○」が適正ではないか。
- ・各施設において、良好に管理ができ、利用者からも高評価であるとの事で良かったと思う。
- ・指定管理の導入後、円滑に運営がなされているところが多い中、円滑でないところもみられるようであるが、このような施設への配慮は必要ではないか。

(1) - ③ 市政情報提供の強化

【評価】◎5人 ○1人 △0人

【個別意見】

- ・市政情報提供については、概ね計画どおり、またそれ以上に実施できていると評価する。今後、さらに広報やホームページの充実や見やすさ・分かりやすさ等に留意し取り組んでもらいたい。特に、生命にかかわる情報（防災、避難場所等）や財産の保持（詐欺や窃盗等）に関わる内容については、さらなる充実を期待したい。
- ・広報の配布について、自治会加入者以外に庁内各課、施設病院、店舗へ現在の配布数が必要か。月末に何冊も余っているのを見受けられる。コスト削減が重視される中、枚数の見直しは必要ではないか。また、自治会加入者が減っている現況の中、メリハリのある方法として、「市の情報は自治会加入世帯へ」と割り切った考えもありだと

思う。

- ・まちづくり活動の情報発信コーナーについては、各地区の資料がすべて閲覧可能であり、大変良いアイデアだと考える。
- ・「絆」メール・市公式LINEの有効登録者について、令和4年度は目標人数よりも登録人数が増えているにも関わらず、令和5年度が同じ目標人数であるのはなぜか。
- ・7年ぶりにリニューアルされた観光パンフレットは、わかりやすくクオリティが高いものになっている。
- ・昨年からは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議等については、書面及びオンライン会議が殆どであり、ホームページ等で周知され、市民との情報共有に積極的に努めていると思う。但し、5類に引き下げられたことにより今後の会議開催については感染防止を心がけた対応をお願いしたい。
- ・ホームページの充実について、令和4年度は前年度より閲覧者数が減少したためか「○」評価となっているのに対し、令和5年度は前年度と比べ閲覧者数が10万人程度減少したにもかかわらず、「◎」とした理由が知りたい。
- ・ホームページや観光パンフレット、SNS等の活用により瑞浪市のアピールに成功している。
- ・ホームページ等を通じ、情報提供は年々強化されていると思う。
- ・市民アンケートも頻繁に取り入れられ市民の声が広がり、市政に反映されている。

(1) - ④ 広聴活動の推進

【評価】◎5人 ○1人 △0人

【個別意見】

- ・広報活動の推進については、計画どおり実施されていると評価する。特に、令和5年度にはパブリックコメントを10件実施するとともに、「市長と語る会」を8地区10か所で開催するなど、多様な市民の声を聴取する取組みを行っていることは評価できる。また、市民アンケートも回答率が49.2%と過去最高だったという努力は評価できる。引き続き、各事業の充実を図っていただきたい。
- ・パブリックコメントを実施したから「◎」なのではなく、意見が寄せられてはじめて「◎」になるのではないか。また、今まで積み上げてきた内容がパブリックコメントで変わることはないか。
- ・市長と語る会を各地区以外で実施されたことは評価する。
- ・市政直行便BOXやSNS等により市民の声を積極的に収集している。今後も継続的に情報収集と共に、発信についても期待したい。
- ・市長と語る会の参加人数が昨年度より少なかったのが残念である。

- ・ホームページ等を通じ、情報提供は年々強化されていると思う。
- ・市民アンケートも頻繁に取り入れられ市民の声が広がり、市政に反映されている。

(1) - ⑤ 外部の視点による評価の推進

【評価】◎6人 ○0人 △0人

【個別意見】

- ・外部の視点による評価の推進については、「総合戦略評価」ならびに「行政改革の評価」ともに計画どおり実施されていることを評価する。こうした外部の委員から示された意見を今後の行政運営に活かしてもらいたい。
- ・国の「地方創生関係交付金」を活用した事業を優先して選定し、「産官学金労言士」の代表となる各委員により2次評価を行い、庁内で共有し取り組んでいることは高く評価できるものと判断する。
- ・内部・外部評価を実施した上で、着実な行政改革自己評価として出来たことはよかった。
- ・前年度の成果を基に、次年度への改善整理がなされ持続可能な行政がうかがえる。

(2) - ① 業務委託の推進

【評価】◎1人 ○5人 △0人

【個別意見】

- ・業務委託の推進について、上下水道の料金業務等委託事業については、長年にわたり検討がなされているが未だ実現に至っていない。しかしながら、導入に当たっては関係する行政機関と連携し、慎重に進めることが望ましいと考える。文化施設の窓口業務については、引き続き、適切な運用を行うとともに、適宜見直しを行うようにされたい。
- ・水道広域化推進プラン及び汚水処理の広域化・挙動化計画が策定されたとの事であるが、依然、当初から検討段階で進んでいない業務もあり、早急な対応が望ましい。
- ・議論が進む検討であるのか、問題が解決できないため検討に留まっているのか判断しづらい。
- ・民間業者に委託は継続で良いが、効果が具体的にわからない。
- ・業務委託の一例だが、包括支援センターの安心電話委託先から、電話設置されている方への管理が行き届いているため喜んでみえる。

(2) - ② 計画行政の推進

【評価】◎5人 ○1人 △0人

【個別意見】

- ・計画行政の見直しについては、ほぼ計画どおり実施していることを評価する。企画政策課の政策評価について第6次瑞浪市総合計画のページにリンクさせるなど、積極的に公表を行っていることは評価できる。また、各部署が取り組む事業についても概ね実施できていると判断する。
- ・ほとんどの事業が実施や計画見直しなど具体的な内容がないため、評価に値しない。
- ・総合計画により、計画的・効率的な行政運営がなされているので、継続して実施していただきたい。
- ・各施策・計画の進行管理ができたと思う。
- ・実施計画の見直しが適切にされ、その成果が表れていると思う。

(2) - ③ 組織再編

【評価】◎4人 ○2人 △0人

【個別意見】

- ・「附属機関等に関する基本方針」に基づき、適正に役割を整理し、例規の整備を行ったことは評価する。今後も必要に応じて、時代に対応した適切な行政組織を構築するよう検討を進められたい。また、市民に対して適切な方法で周知されたい。
- ・組織編成について、現在の重点課題である高齢福祉、子育て支援施策の再編成については評価する。また、市民ニーズに合わせた組織の再編成についても評価する。
- ・政策・施策・事務事業に対応した組織の充実を図っていただき、市民ニーズに合った組織再編の継続に務めていただきたい。
- ・組織名（部署名）は限りなくわかりやすい名称がよく、状況に応じて編成の必要は理解できるが、カタカナ名称は市民に理解を得られるのか疑問である。
- ・市民に分かりやすい組織変更・編成で整備ができた。
- ・シティプロモーション課とシティプロジェクト推進課の新設、その他の課名等変更、移行等にまだ慣れないため戸惑う。第7次総合計画に合わせ市民に分かりやすい組織へと見直していただいたことに感謝する。

(2) - ④ 業務のシステム化の推進

【評価】◎2人 ○4人 △0人

【個別意見】

- ・業務のシステム化の推進について、計画的な契約事務の推進では業務効率を考え年間4回から1回に削減したことは評価できる。RPA・AI-OCRを7業務で運用したことは評価する。行政DXの推進に伴うペーパーレス化については、実現は容易ではないことを認識しつつも、さらなる努力が必要であると指摘する。
- ・職員参集メール訓練は、平時の2回だけで大丈夫か。いろいろな設定を考える必要があるのではないか。
- ・会議録検索システムの目標は、「運用」ではなくアクセス回数にすべきではないか。
- ・様々な業務でシステム化が進んでおり、特に会議録システムではAIなどの導入により業務の自動化・省力化が進められ、評価できると考える。
- ・システム管理により事務の合理化が進んでいるが、効果の検証が必要だと思う。
- ・業務のシステム化により、より効率的な運営につながっていると思う。今まで手間がかかってきた分野が自動で作成されていることを聞き、手間が省けた分、他の面に力を注げると思う。

(2) - ⑤ 行政手続の簡素化

【評価】◎5人 ○1人 △0人

【個別意見】

- ・行政手続きの簡素化の各事業において、適切に実施・運営がなされている。特に証明書がコンビニで交付することができるようになったのは評価できる。
- ・窓口配置の見直しを評価する。
- ・証明書がコンビニで交付可能となり、仕事をされている方がいつでも取得できる点を評価する。
- ・申請手続きのL o G oフォームについて、コロナ禍の中、研修対応に苦慮されている。マニュアルの作成により担当職員以外についても修得が可能と思われ、今後職員の定数化にも役立つと考えられる。また証明書のコンビニ発行は既に実施している市町村もあり、早急な対応をお願いする。
- ・手続きの簡素化が進んでおり評価できる。
- ・市民ニーズにあった行政手続きが行われている。
- ・オンライン化が進み、忙しくて窓口まで行かなくても済むため大変便利になった。

(2) - ⑥ 事務事業の見直し

【評価】◎1人 ○4人 △1人

【個別意見】

- ・事務事業の見直しについては、企画政策課が担当する「事業評価の実施について」外部委員による評価実施件数は昨年の 12 件から 17 件へ増加した。目標の 25 件に対してはまだ少し差があるので今後さらなる努力を期待したい。
- ・外部委員による事業評価について、昨年は評価件数目標 25 件に対し、実績評価件数 12 件であった。昨年と比較し 5 件増加であった事は、コロナ禍で思うような会議自体開催できなかったことが起因していると思われるが、今後現状を踏まえどのように進めていくか検討を要する。
- ・評価実施件数について目標が 25 件となるが、全事業実施して 17 件なのか、多数の内の 17 件なのか判断できない。
- ・外部評価による意見書が活用されたことは高く評価できる。
- ・時世に合わせた内容の評価である。

(2) - ⑦ 広域行政の推進

【評価】◎ 5 人 ○ 0 人 △ 1 人

【個別意見】

- ・ひとつの地方自治体で実現できるものではないため、引き続き他の地方自治体とも協議・検討して効率かつ効果的な広域行政を推進していただきたい。一方、観光の広域化事業は取り組み易い内容であるため引き続き取り組んでいただきたい。
- ・消防機能の広域化事業は、効率化の観点ではなく、人々の命を守るという観点から積極的に事業の推進を進めていただきたい。実施設計まで進んだことは評価できる。
- ・新たな広域の目標スケジュールは、検討ではなく、どの事業をどのようにどこまでするかといった具体的な明記が必要ではないか。
- ・広域連携が積極的に進められているが、病院問題については市民への説明不足感是否定できない。市長の唱える将来の幸せが望まれる街づくりのために、行政の取り組みに対して市民への説明が必要であるかは今回の市長選にて感じられたと思う。今後の対応に期待したい。
- ・関係団体と連携を取り、事業を進めている。
- ・限られた財政の中で地域の検討が進められた危機と、新設課への期待をする一方でより便利な交通手段、アクセスも願います。

(3) - ① 公共施設の見直し・再編

【評価】◎ 3 人 ○ 3 人 △ 0 人

【個別意見】

- ・公共施設等総合管理計画の策定・推進については、段階的に取り組まれている。また、農業用施設の維持管理に関するコスト削減も積極的に行われていると判断する。しかし、都市公園施設の維持管理に関するコスト削減については、物価の高騰等の外的環境の変化はあるものの、さらなる努力が必要であると考え。加えて、事業目標の設定額を実態に則して適正かつ適切な額に見直すなどの検討を要する考える。
- ・瑞浪市が所有する様々な公共施設の状況を把握し、長期的視点にたって国の指針のほか、再編成プランや個別施設計画を再度見直し、市民にはホームページに発信するだけでなく理解度を深める工夫が必要と感じる。
- ・公共施設の維持・管理を適正に管理したとおり、今後も取り組んでほしい。
- ・さらなる検討をお願いする。

(3) - ② 健全な財政運営

【評価】◎3人 ○3人 △0人

【個別意見】

- ・市の財政は、概ね健全に運営されている。実質公債比率は、目標値を大きく下回るとともに、直近をみても減少傾向にある。また、市債残高も目標値を下回り減少傾向にある。このことから計画的な財政運営を行っているものとして評価できる。さらに、経常収支比率も適正水準を維持していることは評価できる。引き続き、健全な財政運営を行うように努力されたい。
- ・介護保険事業において、介護予防・認知予防、通所型サービスBなど、コスト面だけでなく、予防対策としての対応を評価する。
- ・財政の健全化比率について、現在も目標数値を下回っており、適正な範囲で健全な財政運営がなされているので、維持していただきたい。
- ・各行動計画事業において、内部評価が高く、正しく財政運営ができたと思う。
- ・限られた財政の中での検討、努力に感謝する。

(3) - ③ 収納対策の推進

【評価】◎2人 ○4人 △0人

【個別意見】

- ・収納対策の推進については、計画に則り実行されていると評価する。個別事業の取り組み並びに実績をみても特段の問題を感じない。但し、各事業の実施にあたる職員の負担を適切に管理し、組織的な取り組みにより個別職員に過度な負担を強いることの無いよう留意されたい。

- ・保険年金課や上下水道課の現年収納目標が低いのはなぜか。目標すべきは100%に近い数字であるべきではないか。
- ・給水停止措置は問題ないか。条件的に納入不可の方へのサポート体制はあるのか。
- ・市税等の徴収率向上に向けた努力がうかがえる。特に新規滞納者に対する対応強化が図られていると思う。今後も継続して滞納者に対する督促強化を図り、改善を期待したい。
- ・収納率の向上がみられ、評価できる。しかし、さらなる収納対策を期待する。
- ・納入するのが当たり前と思っているが、現実には必ずしもそうでないため、努力に感謝する。

(3) - ④ 新たな自主財源の確保

【評価】◎2人 ○4人 △0人

【個別意見】

- ・新たな自主財源の取組みは、行政の主たる事業ではないため、それほど深刻であるとは考えていない。しかしながら、事業化し、人件費や費用がかかっている以上は、その費用対効果を個別に評価する必要がある、その仕組みを構築されたい。その中で、効果がある事業については、積極的に事業を推進されたい。特に「ふるさと納税」制度については、潜在的な可能性はあると思われるので、さらなる推進を期待したい。
- ・ホームページのバナー広告の収入目標について、前年度の実績を加味した目標額になっていないのはなぜか。
- ・時刻表は全戸配布以外にどの程度作成されているか。
- ・ふるさと納税について、昨年度は目標を上回っているが、近隣他市と比較してどうであったかが問題であると考え。目標値をクリアできた努力は認めるが、更なる目標値の上乗せが必要と考える。
- ・広報・ホームページ等での情報発信により、自主財源の確保に繋がり成果が出ている。
- ・努力に感謝する。

(3) - ⑤ 受益者負担の適正化

【評価】◎3人 ○2人 △1人

【個別意見】

- ・現在のところ適切な対応を行っているとは評価する。行政機関としての公共性に鑑みながら各施設利用や各種行政サービスの受益者負担額の均衡を保っていただきたい。難しい課題であるが、適切かつ最適な額を検討することを望む。

- ・受益者負担の適正化を図ることは当然であり、検討したから「◎」という考え方はどうなのか。
- ・各種使用料・手数料については、公平性及び明確性が必要と考える。市民の方々に使用料の引き上げ時は明確な根拠の提示をお願いしたい。
- ・物価の動向を見据えての検討・判断はよかった。
- ・先の見えない物価高で苦勞を感じる。

(3) - ⑥ 職員定数の適正化

【評価】◎3人 ○3人 △0人

【個別意見】

- ・職員の定数の適正化については、ほぼ適正に行われていると評価する。人事（退職、採用等）という性質上、予想を超える退職や内定辞退も考えられることから、計画した数に対する多少の増減はやむを得ないとする。今後も予測可能な数字をもとに適切な人事計画を立て実行に移してもらいたい。また、今後優秀な職員の確保に向けた取り組みが必要ではないか。
- ・目標値に対し4名の削減ができているが、平成28年度と比較し14名の増員となっている。今後少子高齢化が進む中、一般企業においても人員削減が強いられている観点から今後ますますの適正人員の見直しが必要である。
- ・令和2年度では目標を上回り「○」評価となっているにもかかわらず、令和5年度では目標を下回っているが「◎」なのはなぜか。
- ・必要な人材を確保出来てよかった。業務を良好に行えたかは検証が必要。
- ・育児休業の取得が広まり、少しでも育児が安定できる時代になってきたことに嬉しく思う。

(3) - ⑦ 職員資質の向上

【評価】◎1人 ○5人 △0人

【個別意見】

- ・職員の資質向上については、研修も含め概ね適切に実行されていると評価する。但し、「個人情報保護・情報公開制度研修会」ならびに「契約事務担当者研修会」の重要な研修について、積極的に取り組むように期待したい。
- ・個人情報保護・情報公開制度研修会については、もっと力をいれるべきではないか。
- ・人事考課の結果が昇給や勤勉手当に反映されているのであれば、正しい評価をする

ために評価者研修は毎年実施すべきではないか。

- ・コミュニティーセンターの人事考課は誰が評価しているのか。
- ・年休に関して、実績としては目標をクリアしているものの、全職員が目標をクリアしてはじめて評価されるものではないか。
- ・コロナ禍で、対面研修が実施困難の状況下、ハイブリッド形式の研修会など開催を検討され、実績数値は目標値には届かなかったものの実施努力は認められると判断する。研修内容の改善等、職員の能力向上に努めてもらいたい。
- ・職員提案制度の活性化について、取組実績が過去「実施」となっているが、評価が「△○○」と異なるのはなぜか。提案が採択されれば「◎」なのか。
- ・研修等を行うことで、自己啓発の機会が得られ、仕事に対して前向きになったのではないか。
- ・各課で効率よく職員資質の向上に努力されている事が市民に反映されているので、今後も期待する。

瑞浪市行政改革審議会開催経過

- | | | |
|-----|-----------|---|
| 第1回 | 令和6年8月21日 | <ul style="list-style-type: none">・第5次瑞浪市行政改革大綱等趣旨確認・会長、職務代理者選任・審議会の運営、スケジュール・第5次瑞浪市行政改革の外部視点による評価・検証のあり方について・今後の行政改革のあり方について |
| 第2回 | 令和6年9月26日 | <ul style="list-style-type: none">・評価の取りまとめについて
(各委員の評価に対する意見交換) |
| 第3回 | 令和6年11月7日 | <ul style="list-style-type: none">・意見書案の審議 |

瑞浪市行政改革審議会

会 長 宮嶋 恒二 (学識経験者 中京学院大学)

会長職務代理者 高橋 佑太 (瑞浪青年会議所)

委 員 中村 鈴彦 (瑞浪市連合自治会)

委 員 景山 英明 (瑞浪商工会議所)

委 員 大竹 悦子 (瑞浪市男女共同参画社会推進会議)

委 員 辻本 紀み子 (公募)